

| | | | | |
|----------|-------------|-----|---------|-------|
| 授業科目名・形態 | ソーシャルワーク演習Ⅳ | 演習 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 担当者氏名 | 白男川 尚・石岡和志 | 開講期 | 3年前期 | 単位数 1 |

【授業の主題】

社会的排除・児童虐待・高齢者虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレス・その他危機状況にある相談事例を用いて、総合的かつ包括的な援助について実践的に学ぶことにする。上記の援助困難事例について、グループ討論とその結果報告並びに全体討論といった学習方法により、具体的に学んでいく。社会的排除・児童虐待・高齢者虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレス・その他危機状況にある相談事例などソーシャルワークの特徴的事例を教材に、援助の組み立て方について理解を深める。

【達成目標】

援助の組み立て方について理解を深め、具体的な体験や援助活動を専門的援助技術として概念化し、体系立てていくことができる能力を最終的に身につけられるようにしてもらいたい。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーションとグループ決め
- 第2回 社会的排除に対する援助の事例検討①
- 第3回 社会的排除に対する援助の事例検討②
- 第4回 児童虐待に対する援助の事例検討①
- 第5回 児童虐待に対する援助の事例検討②
- 第6回 高齢者虐待に対する援助の事例検討①
- 第7回 高齢者虐待に対する援助の事例検討②
- 第8回 家庭内暴力に対する援助の事例検討①
- 第9回 家庭内暴力に対する援助の事例検討②
- 第10回 低所得者に対する援助の事例検討
- 第11回 ホームレスに対する援助の事例検討
- 第12回 その他の危機状況にある相談事例の検討
- 第13回 援助の困難な事例への対応を「研究する視点」を養う
- 第14回 援助の困難な事例に総合的かつ包括的な援助を行う
- 第15回 演習のまとめ

【授業実施方法】

演習

【授業準備】

関連する科目で学んだ講義内容を再確認しておくこと。

【主な関連する教科】

ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅴ

【教科書等】

日本社会福祉士養成校協会『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版

【参考文献】

その都度紹介する。

【成績評価方法】

課題提出 20%、授業態度・出席状況 80%より総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。